

ドコモ市民活動助成事業報告

地域の課題はオール飛騨で解決！



NPO法人飛騨高山わらべうたの会
岩塚久案子

●コンセプト

子どもの笑顔が未来をつくる

●キーワード

つなぐ

過去と未来をつなぐ



飛騨地方に伝わるわらべうたを
子育てに活かす

親と子をつなぐ



つどいの広場（子育て支援拠点）・出張講座
親子ふれあい遊び
親子で木のおもちゃづくり

第3種郵便物認可

岐阜

飛騨のわらべ歌、伝え残そう

西岡小夜子さん（左）木下啓子
さん（中）から、わらべ歌と遊
び方を習うメンバーら＝高山市
昭和町、市総合福祉センター

高山市のグループ



わらべ歌を伝え残す活動をしている「わらべうたの会」（事務局
高山市山田町）が、おばあちゃんたちから地元わらべ歌を習い、
楽譜にまとめようという取り組みをしている。三日は、同市昭和町の市総合
福祉センターに二人を招き、メンバー五人と一緒に歌い、ビデオ撮
影して取材した。

楽譜に残し歌集作り

親戚縁故久松（七人）は、子も（三）も「ミニ
ケーン」を深められ
るわらべ歌のパワーを
実感。CDなどでは
なく、おばあさんの生
声で伝えてほしいと話
してゐる。

お年寄りから教え受ける
同会はおよそ七月
に結成し、会員は市内
外の十八人。一般の親
子が参加できる歌の会
を毎週開くとともに、
手遊びなどの図解も付
けた歌集「飛騨のわら
べうた」を、保育園な
どで配布しようとする
目標で、三月の完成を
目指している。



観光客の人気を集めている
たがまき川川村秋町

自然（森）と
子どもを
つなぐ

ぎふ木育の推進
ぎふ木育ひろば運営



飛騨高山・地域お仕事発見隊

飛騨地域の企業
100社のお仕事を
約600人の子どもが体験



地域と子ども、
地域と子育て家庭を
つなぐ



ドコモ助成を3年間活用し、
支援体制を構築

親子で楽しむワイワイカフェ



ファミリーサポート
わらぼぼ宅食

要養育家庭支援事業
ひとり親家庭支援事業

団体紹介と申請事業について



- 役員・スタッフ 37名
(うち9割のスタッフが**保育士、幼稚園教諭、子育て支援員**などの資格を有する：ほとんどが子育て真っ最中のママ)
- 2015年 NPO法人設立 (市民活動団体として8年間活動後)
- 主な活動場所
飛騨高山森のエコハウス (ぎふ木育ひろば)
高山市ファミリーサポート事務局
高山市つどいの広場 ひだっこランド

【申請事業】 (2021)

コロナ禍における子育て家庭の困窮実態調査 ～非常時に必要な支援とは～

【目的】

- ① コロナ禍で浮き彫りになった、岐阜県の子育て環境の課題に対して、行政と民間が協働して解決にあたっていけるように、情報提供する
- ② 「**地域ぐるみ**」という子育て支援環境の必要性を発信 (提言も!)
⇒ 「防災にもつながる」

【調査地・対象】

岐阜県 42市町村の子育て家庭

<https://www.mcfund.or.jp/news/2022/001228.html>



* 岐阜県内を5つの圏域に分け、アンケートを実施 (岐阜大 今村教授のアドバイス)

助成事業（調査助成）の内容と成果

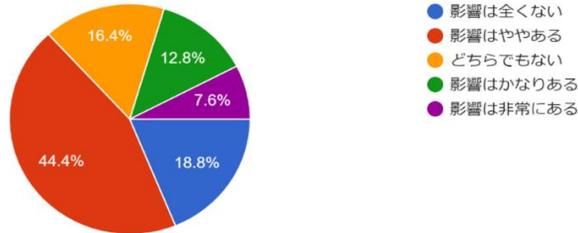
【飛騨圏域】

高山市、下呂市、飛騨市、白川村



250件 (97%女性)

④新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後で、家計への影響はありますか？



「家計への影響が多少でもある」と答えた人

64.8%

⑤あなたは子育てにどれほど関与していると感じていますか？



「自分が主に子育てしている」と答えた人

87.6%

⑥新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後で、子育てへの感じ方の変化について教えてください。



「孤独や不安を感じる」と答えた人

57.2%

それぞれの圏域の生の声も大切にしたい



県、市町村、子育て支援団体が参考にして下さる

● 日本一大きな自治体 高山市

- ・ 児童センターは市中心部に設置

(支所地域の『つどいの広場』はスタッフが常駐ではない)

- ・ 子育て親子向けイベントは、市中心部で開催される事が多い
- ・ 各まちづくり協議会には、乳幼児親子を対象とする部会がない所が多い



広い高山市に点在する子育て家庭が
孤立してしまいがち



そこへコロナ禍が一

● 臨時休校・臨時休園



● 児童センター・図書館などの閉館



● 市の検診・赤ちゃん教室などの中止



● イベント中止・外出自粛



たくさんの子育て家庭が困窮・孤立！

どんな実態が浮き彫りになったかー

●人と話す事、交流する機会の激減による孤独化・孤立化

どこにも相談できる所がない…
子どもを連れて出かける所がない…

毎日ずっと子どもと
家で二人きり…。
どうしたらいいの…？

**産後うつ
ネグレクト
虐待**



子育てが辛い…
自信がなくなった…
母親失格かも…

お母さん、大変そう…
がまんするしか
ないのかな…

毎日ほったらかし…
ごはんを作ってもらえない…

給食だけが
毎日楽しみ…



子どもの貧困問題

とたんに孤立してしまう子育て家庭の実態が浮き彫りにー

我慢する子ども、お腹をすかせる子どもの実態が浮き彫りにー

3年にわたるドコモ市民活動助成のおかげでー

ドコモ市民活動団体助成を活用し、構築してきた、3年間にわたる地域ぐるみの子育て支援体制作りにより、コロナ緊急支援活動がスムーズに！！
(2018年～2020年)



*** コロナ禍が原因で孤独・孤立、困窮に陥った家庭への支援を実施！**

①ひとり親家庭・困窮家庭支援 (高山市と連携)

②電話大作戦 (まち協、子育て支援団体と連携)

200件中92件 (約45%) が孤独や不安を抱える

③市内全ての子育て支援関係団体を対象にアンケート実施
(高山市社会福祉協議会、まち協、子育て支援団体と連携)

50%を超える子育て家庭が孤独や不安を抱える

④子ども宅食『わらぼぼ宅食』 (高山市、市内飲食店と連携)

⑤中学・高校の制服リサイクル (市民活動団体と連携)



高山市SDGs宣言



構築してきたつながり（協働体制）

岐阜県 子ども家庭課

- 女性のつながりサポート
- 様々な支援事業の紹介
- 当会活動のお知らせ

ぎふNPOセンター

- 女性のつながりサポート
- 様々な支援事業の紹介
- 当会活動のお知らせ
- 活動へのアドバイス

各地域 子育て支援団体 ママサークル 有志参加者

- 協働事業の開催
- 子育て支援活動への協力
- 情報共有

高山市 各まちづくり協議会

- ワイワイカフェ共催
- 居場所づくり共催
- 人材発掘への協力
- まち協イベントへの協力

NPO法人飛騨高山わらべうたの会

高山市子育て支援課 市子ども発達支援センター

- 要養育家庭支援事業
- ひとり親家庭支援事業
- ファミリーサポート事業
- 情報共有・支援依頼
- 当会活動のお知らせ

高山市社会福祉協議会

- 児童センターとの連携（育児支援）
- 情報共有・支援依頼
- フードバンクでの食料品提供

ひだ子ども家庭支援センター 飛騨子ども相談センター

- 深刻な相談に対する対応
- 情報共有・支援依頼

市内飲食店・企業

- 宅食でのお弁当提供
- 食料品提供
- 金銭面でのサポート

岐阜大学

- 調査方法の
アドバイス

報道機関

- 活動の広報
- 人材発掘の
呼びかけ

子どもを取り巻く課題をオール飛驒で解決！

【活動を通して痛感した事】

●行政・公設機関・企業・地域の方々との連携が必要不可欠！

情報共有

マンパワー

資金援助・物的支援

*切実な声、SOS、実態をしっかりと蓄積して、必要性を訴える

*それが「地域の未来に必要な不可欠だ」という事を熱く語る

共感

●社会とつながっている、ひとりじゃないと気付いてもらう

*支援対象者（ステークホルダー）に、自分にも心を寄せてくれている機関、人がいるという事を知ってもらう

「がんばろう！」って思えます…



生きる力

全ての事業、すべてのつながりがうまく機能

虐待の発見・支援・変化

- ・子ども家庭支援センターや子ども相談センターからの支援依頼
⇒宅食お届け⇒ファミサポ利用⇒子ども広場へ親子で来場
- ・母親が育児放棄ぎみ。小学校低学年の子どもが弟たちの世話をしている。

虐待通報、でも実際は一

- ・ひとり親家庭。近隣から虐待の通報をされてしまう
⇒日頃から宅食やひとり親支援でつながり
⇒実際はちょっと激しめの兄弟げんかとそれをたしなめる声
⇒行政へ説明（日ごろのつながりがあればこそその信頼）

①子ども達に寄り添うこれらの事業の重要性を知って頂く

- ・地域の課題、子ども達が抱える課題の解決に向かう事業

②埋もれてしまっている人をどうやって見つけて、支援の手をさしのべていくか

- ・行政、公的機関、企業、地縁団体、地域の方々との連携強化

③支援スタッフの発掘・育成とスキルアップが必要

- ・特に個人情報に関する知識の習得、傾聴スキルなど

④**社会の仕組みを変えていくような働きかけ**

- ・悩みや不安、貧困を抱えた女性が自立していけるような支援
⇒制度というよりはケースバイケースの支援を行う仕組み



ご清聴誠にありがとうございました